

とうかいグッドトイ委員会 おもちゃ通信



2018年
2月号

ホームページ: <http://toukaigoodtoy.web.fc2.com/>

おもちゃ通信は会員同士の情報共有とつながりづくりを目的として発行する月刊通信です(＾o＾)

こんなおもちゃを見つけました

高性能プラスチック独楽
「ツバメ」「ヒバリ」「ハヤブサ」「モズ」

皆さんは最近再び投げ独楽が流行りつつあるのをご存じですか？投げ独楽としては珍しく新世代独楽として、画期的な商品が発売されています。「ツバメ」「ヒバリ」「ハヤブサ」「モズ」という4種類の独楽です。何が画期的かと言えば、従来の独楽よりも重心が安定していて、回転軸がブレにくく、技がやりやすくなったこと。そしてパーツを組み合わせて自分オリジナルの独楽にカスタマイズできることです。おまけに日本こままわし協会認定こまとして競技会にも使用可能です。販売は(株)そろはむ。ヨーヨーなどを中心に販売している日本のメーカーで、ヨーヨー専門店「スピングア」も運営しているその道では有名な会社。価格は400円～3500円
ツバメ⇒ヒバリ⇒ハヤブサ⇒モズの順でグレードがアップしています！



おもちゃエッセイ②

「メイド・イン・ジャパン」が危ない！

先日大須観音への参拝の帰り、商店街を歩いていると、ふと「懐かしいおもちゃ」という看板が目に入り飛び込んできた。ちょうど信号待ちだったこともあり、思わず店の扉をくぐる。その店の名は「TOY TALK」。4坪の店内は、ソフトビニール人形から陶器製人形、こけしなど戦前に作られた物から昭和40年代のものまで、懐かしい品ばかり。なんでもコレクターである店主が今まで集めた品を売っているのだとか。店のこだわりはすべて日本製というところ。この時代に作られたものは完成度が高く、作るのに手間がかかるものばかり。今そうゆう物が海外で人気が高く、日本から流出しているとのこと。店主が熱く語る。「日本で作られた秀品が日本から消える。日本人はもっとそこに目を向けなさい。メイド・イン・ジャパンが危ないんだ！」



★角さんの今月のゲーム

「妖精さがし」

メーカー：セレクトタ社 年齢：3歳～
プレイ人数 2～8人 プレイ時間：15分～

今回は私の最近の一押し「妖精さがし」を紹介します！まずテーブルにたくさんの可愛い妖精さんタイルを並べます。実はこの妖精さん全てのパターンが違うのです！ですので、サイコロを振って出た色のパターン（赤・青・黄など）と同じパターンの妖精さんは一人しかいません。

いち早くその妖精さんを見つけた人がタイルを取り、多く集めた人の勝ちのいわば変則カルタです。何よりイラストの可愛さと、色さえ分かればゲームが理解できる簡単さが魅力的！小さいお子さん向けにオススメです！



✂ 児童館活動ア・ラ・カルト(5) 熱田児童館の『作ってあそぼう』

「作って遊ぼう」こんなことがありました。姉弟で通っていましたが、弟のことです。5歳です。日頃より、絵が小さく空白部分が目立っていました。「空いているよ、もっと描いてもいいよ」とアドバイスをしていました。が弟は描きませんでした、「これでいい」ということが多くありました。新年度になり、姉しか通ってきませんでした。弟のことを訪ねてみると、「絵が小さくて言われるからやめた。」私はショックでした。弟にとって、「もっと描いていて」という言葉は、ストレスだったと気が付きましたが、遅すぎました。猛省でした。アドバイスのつもりが、子どもの心を気づかせていました。

(Y・E)

【編集後記】先月のフォローアップ講座で講師の岡田さんが今年のテーマはゲームとブロックと話されていましたが、今年の私のテーマはズバリ！“民芸おもちゃ”。随所にみられる細かいわざと造りが魅力です。by 内山